

## 令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・昨年度の課題であった「思考・判断・表現」において、全国、区の平均正答率よりもほとんどの項目で上回っている。社会的事象に着目した問いをたて、追及、解決過程を通して、課題解決型の授業改善を行った成果が表れたといえる。

#### (2) 課題

- ・4年「地域や市の様子」5年「都道府県の様子」6年「国土の自然などの様子」の領域において、全国平均正答率を下回っていた。教科書の資料を活用するとともに、資料集や地図帳、デジタル教材を活用するなどし、文章と資料を関連付け、視覚的に理解させる必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 正答率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第4学年時)	/	/
第5学年	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第5学年時)	校内正答率は、目標値、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	校内正答率は、目標値、ともにやや上回っている。全国平均正答率よりはやや下回っている。 (第6学年時)	校内正答率は、目標値、全国平均正答率ともにほぼ同じだがわずかに上回っている。 (第5学年時)	校内正答率は、目標値より上回っているが、全国平均正答率よりも下回っている。 (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<4年生> ・正答率は、目標値、全国平均正答率、区平均正答率よりやや上回っている。 ・地域や市の様子に関する問題では、全国平均を下回っ	<4年生> ・正答率は、目標値、全国平均正答率より、上回っている。区平均正答率よりやや上回っている。 ・資料から情報を読み取る力	<4年生> ・正答率は、目標値、全国平均正答率より上回っている。区平均正答率よりやや上回っている。

ており、資料の読み取りに課題が見られる。	に課題が見られる。	
----------------------	-----------	--

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>&lt;5年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率と同等である。地図の縮尺の見方や都道府県の位置などの知識の習得に課題が見られる。</li> </ul> <p>&lt;6年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生の平均正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率より上回っている。</li> <li>地図の見方、食料生産や工業生産の仕組みについての知識を定着させる必要がある。</li> </ul>	<p>&lt;5年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率と同等である。情報を関連付けて考えることに課題が見られる。</li> </ul> <p>&lt;6年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生の平均正答率は、目標値より大きく上回り、区平均正答率、全国平均正答率より上回っている。</li> <li>資料から正しく情報を読み取り、既習事項や生活経験と関連付けて考える力を付ける必要がある。</li> </ul>	<p>&lt;5年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率と同等である。</li> </ul> <p>&lt;6年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生の平均正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率より上回っている。</li> <li>地図や様々な資料を基に、主体的に読み取ろうとする意欲付けが必要である。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>&lt;4年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域や市の様子を学習する際には、大田区と他の地域を比較して考えたり、身近な出来事を自分たちの生活と関連付けたりしながら考える学習を多く取り入れていく。</li> <li>資料を読み取る学習では、資料の見方や考え方を確認し、考える時間を十分に設ける。</li> </ul>	<p>&lt;4年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の読み取りの学習を行う際には、人物と出来事をもとに事実をまとめたり、図を入れて、資料を根拠に自分の考えをもてるようにしたりしていく。</li> <li>調べたことを、報告文や新聞等でまとめる練習をしながら、情報を整理したり、必要な情報を収集したりする力を養っていく。</li> </ul>	<p>&lt;4年生&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習を通して、大田区の歴史や文化に触れながら、大田区の移り変わりについて考える機会をもたせ興味・関心を引き寄せていく。</li> </ul>

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>&lt; 5年生 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地名や国名、国土を学習する際には、指を使って実際に触れさせ、位置関係やある地点からの距離、方向などを定着させるよう繰り返し行う。</li> <li>資料に触れる機会を多くし、必ず視点を与えてから、資料を読み取らせる。</li> </ul> <p>&lt; 6年生 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の導入等で、フラッシュカードを活用するなどして用語・語句を確認したり、地図の見方を振り返ったりする。</li> <li>授業の始めにフラッシュカード等を活用して、知識の定着の確認をする。</li> <li>年表や新聞づくりなどの学習活動を通して、調べた情報をまとめる技能を身に付けられるようにする。</li> </ul>	<p>&lt; 5年生 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決的な学習過程を構築し、問いを解決するために必要な情報を関連付けて考えさせる。思考ツールなどを活用し、考え方の工夫を促す。</li> <li>学習のまとめでは、自分の力で書く活動を取り入れる。その際、大事な言葉や覚えてほしい言葉をキーワードとし、キーワードや根拠を入れた自分の考えを書くようにする。</li> </ul> <p>&lt; 6年生 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を身に付けられるよう、視点を与えて資料を読み取らせる。</li> <li>社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力を身に付けられるよう、考えたことを説明したり、議論したりする機会を設ける。</li> <li>学習のまとめでは、既習事項や生活経験と結び付けて考えたことを自分の言葉で表現できるようにする。</li> </ul>	<p>&lt; 5年生 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会を支える人々の思いを想像させたり、自分の生活に生かせることを考えたりする時間を設定する。</li> <li>児童の興味関心を生かし、学習問題や一単位時間の課題を設定する。</li> </ul> <p>&lt; 6年生 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活と結びついている資料などを導入で扱い、「やってみよう」「調べてみよう」を引き出す。</li> <li>多角的な思考や理解に導ける資料を提示する。</li> <li>体験学習やゲストティーチャーを招いて行う授業を取り入れる。</li> </ul>